

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道54号 三刀屋 ^{みとや} 拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：島根県雲南市三刀屋町三刀屋 ^{うんなん みとやちょう みとや} 至：島根県雲南市木次町里方 ^{うんなん きすきちょう さとがた}			延長	4.1km	
事業概要						
<p>一般国道54号は、広島県広島市^{ひろしま}を起点に広島県三次市^{みよし}を経由し、島根県松江市^{まつえ}に至る総延長約180kmの主要幹線道路である。三刀屋^{みとや}拡幅は、島根県雲南市三刀屋町^{うんなん みとや}周辺の円滑な交通と交通安全の確保を図るとともに周辺の開発計画に寄与することを目的とした延長4.1kmの道路整備事業である。</p>						
H5年度事業化	H4年度都市計画決定 (H26年度変更)		H10年度用地着手	H11年度工事着手		
全体事業費	約144億円	事業進捗率	71%	供用済延長	1.2km	
計画交通量	5,900～19,000台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 1.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 38/180億円 事業費：31/166億円 維持管理費：7.9/14億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 69/193億円 走行時間短縮便益：66/183億円 走行経費減少便益：2.4/7.9億円 交通事故減少便益：0.5/2.7億円	基準年 平成27年		
感度分析の結果						
<p>(事業全体) 交通量：B/C=0.9～1.2（交通量±10%） (残事業) 交通量：B/C=1.6～2.0（交通量±10%） 事業費：B/C=1.1～1.1（事業費±10%） 事業費：B/C=1.7～1.9（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.0～1.2（事業期間±20%） 事業期間：B/C=1.6～1.9（事業期間±20%）</p>						
事業の効果等						
<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 渋滞損失時間の削減が見込まれる ・ 利便性の向上が期待できるバス路線が存在する【雲南市民バス 等】 ・ 雲南市から出雲空港へのアクセスが向上 <p>②都市の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携 <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる 【雲南市（三刀屋総合センター）～松江市】【雲南市（三刀屋総合センター）～出雲市】 <p>④安全で安心できる暮らしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三次救急医療施設へのアクセス向上【雲南市（三刀屋総合センター）～島根県立中央病院】 <p>⑤災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（平成25年6月）において緊急輸送道路に位置づけ有り <p>⑥地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CO2排出量の削減が見込まれる 						

関係する地方公共団体等の意見

三刀屋拡幅は、円滑な交通と交通安全の確保、まちづくりの支援、地域経済の発展などが期待されており、雲南市長はもとより、商工会、工業団地振興会、JA、消防団、住民による協議会など様々な団体から早期整備の要望を受けている。

島根県知事の意見：妥当である。

三刀屋拡幅は、円滑な交通と交通安全の確保、地域経済の発展などに寄付する事業である。県や市の関連する事業なども同時に実施しているところであり、平成27年度開通予定の雲南市三刀屋町下熊谷から雲南市木次町里方（区間③-2）については確実な供用をはかっていただきたい。また、雲南市三刀屋町三刀屋から市道要害1号線までの間（区間①）についても円滑な交通と交通安全の確保を図るための整備を促進していきたい。

事業評価監視委員会の意見

事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。

審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は、妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

三刀屋拡幅沿線部では、商業施設等も立地し、市街化が進展しており、人口も増加傾向である。H23年度までの段階的に4車線開通しているが、未開通の里熊大橋交差点間がボトルネックとなり、依然として渋滞が発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成27年3月末で用地買収は約60%完了している。
- ・平成27年3月末で事業進捗は約71%完了している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成27年度：雲南市三刀屋町下熊谷～木次町里方間 延長0.5km（4/4）開通予定

施設の構造や工法の変更等

今後の実施にあたっては、コスト縮減を図りつつ事業を推進していく。

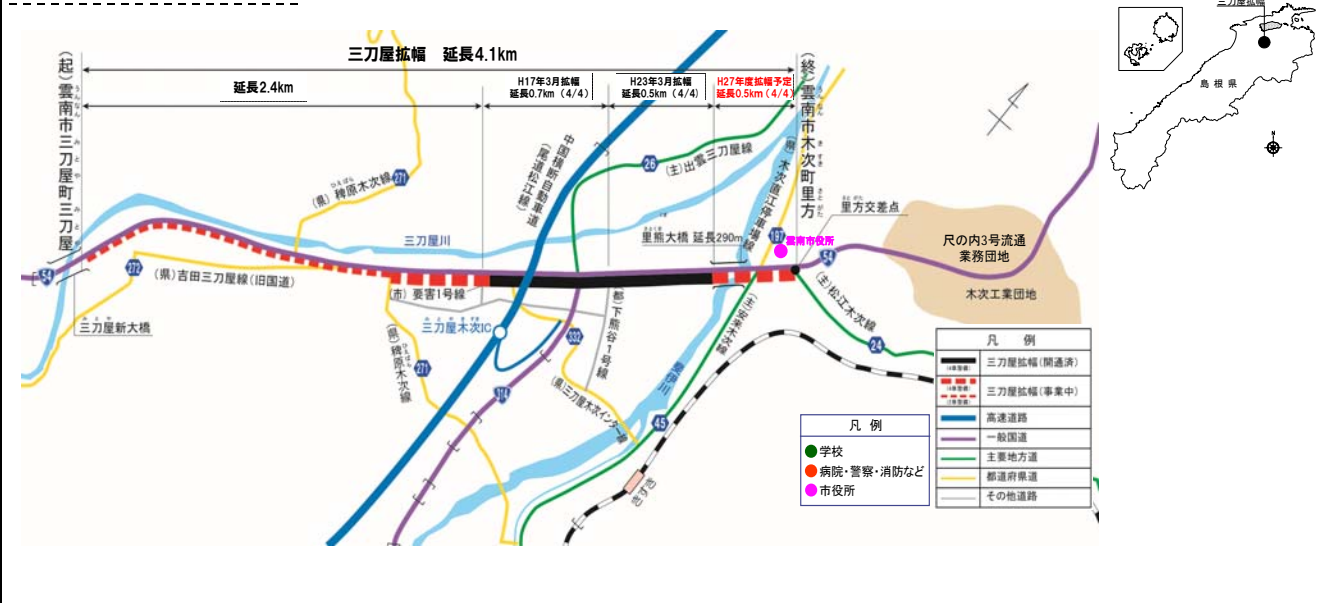
対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。